

第2次始良市総合計画 基本構想案に対する意見・疑問等

始良市総合計画審議会において提出された「第2次始良市総合計画基本構想（案）」に対する意見・疑問等を下表の事務局対応方針ごとに取りまとめ、一覧表としました。

対応方針	内 容
①答申に基づき修正する	審議会より提出される答申に基づき、必要な修正を行う。
②基本計画にて掲載	個別具体的な事業の内容については、基本計画において掲載する。
③事務局にて修正	字句の訂正など、簡易な修正で、政策の方向性などに影響しない箇所については修正する。
④意見として承る	直接総合計画に掲載できないものの、意見として承る。
⑤その他	現在の施策内容に対する質問、現況に対する質問等については個別に回答したい。

この資料の見方

事務局としての対応方針を記載してます。

提出いただいた意見・疑問の内容を記載してます。

基本構想案に対する意見・疑問等

対応方針 ①答申に基づき修正する

原案 頁	修正案 頁	箇所	内容	種別	事務局対応方針
4	4	(2)人口構造 「行目「年齢別人口の推移」	「年齢別人口の推移をみると～」とあり、グラフで示してあるが、数字でも年齢別、割合が示してあると、より分かりやすいのではないかな。	意見	①答申に基づき修正する

今回提案している修正案にて掲載している「ページ」番号を掲載してます。

今回提案している修正案にて掲載している「ページ」番号を掲載してます。

7月31日に開催した「第2回総合計画審議会」にて提案した原案に掲載している「ページ」番号を掲載してます。

基本構想案に対する意見・疑問等

対応方針 ①答申に基づき修正する

原案 頁	修正案 頁	箇所	内容	種別	事務局対応方針
4	4	(2)人口構造 7行目「年齢別人口の推移」	「年齢別人口の推移をみると～」とあり、グラフで示してあるが、数字でも年齢別、割合が示してあると、より分かりやすいのではないかな。	意見	①答申に基づき修正する
7	7	(2)未来を拓く人材の育成 7行目「まち・ひと・しごと創生総合戦略」	「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は2017年12月に改訂版がでており、本文だけでも148ページで多岐にわたっている。この文章ではあたかも以下2行が全てのごとく書いてあるが、いかがなものか。注釈として引用について記載するべきではないか。参考として委員への配布を検討すること。	表現に対する意見・疑問	①答申に基づき修正する
9	9	(6)魅力と競争力のあるまちづくりの必要性 2行目「産業観光施設」	始良市に「産業観光施設」はあるのか。歴史的文化的遺産は多数ありますが。	質問	①答申に基づき修正する
10	10	(7)都市基盤の構築 6行目「地域特性に応じた土地利用」	「地域特性に応じた土地利用」とは、具体的にどのような特性があるのかわかりにくい。	表現に対する意見・疑問	①答申に基づき修正する
11	12	(1)共生・協働のまちづくりと効果的な行財政運営の推進 8行目「NPO」	NPOは現在、業種により非営利法人とそれ以外のものと二通りあり、その業種によっては一般法人と変わらない法人も存在します。よって、全ての法人が非営利法人ではないので、一般事業所と区別して別途「NPO」として記載することはいかがなものか。現状では一般事業所の範疇としてとらえるべきではないか。NPOを別記するのではあれば、一般事業所を先に掲載し、NPOをその後に記載するべき。P18も同様。	表現に対する意見・疑問	①答申に基づき修正する
11	11	3始良市のまちづくりの現状と課題	(1)～(6)のタイトルは、本市のまちづくりの方針に基づいて現状と課題が整理されており、何故このタイトルが採用されているのか不可解。	表現に対する意見・疑問	①答申に基づき修正する

基本構想案に対する意見・疑問等

対応方針 ①答申に基づき修正する

原案 頁	修正案 頁	箇所	内容	種別	事務局対応方針
11	11	3始良市のまちづくりの現状と課題 全文	分析の為に本市の統計資料(可能な限り出せるもの)は「参考資料」として提示してもらいたい。	表現に対する意見・疑問	①答申に基づき修正する
11	11	■人口の自然減少と高齢化の進行 3行目「出生数は横ばいで～」	「出生数は横ばいであり、人口の自然減少が続いています。」とあるが、推移をグラフで示したほうがわかりやすいのではないかな。	意見	①答申に基づき修正する
11	11	始良市のまちづくりの現状と課題	国全体に関わる部分と混在している。始良市の現状について資料を交えて提示すべき。	意見	①答申に基づき修正する
18	21	協働について	協働という言葉は一般市民には余りなじみが無く、どういう意味なのかと感ずるのではないかな。行政やPTAでは良く使われる言葉だと思うが、これらに関わりの無い人は聞いたことも無いことも考えられることから、注釈にて開設する必要がある、それにより市民にも浸透していくのではないかな。	表現に対する意見・疑問	①答申に基づき修正する
18	21	1協働・自治 5行目「自己統治」	「自己統治」という表現は理解できるが、難しくないかな。「自治意識」のほうが、市民には理解しやすいのではないかな。わかりやすい表現が良い。	意見	①答申に基づき修正する
18	21	施策の大綱	全体的にもっと前向きな表現、積極的な表現ができないかな	意見	①答申に基づき修正する
22	25	地域の名称について	北部・中部・南部地域とありますが、どこの事なのか分かりにくいような気がします。中部地域は主に蒲生付近を表していると思われるが、地図上で見ると加治木も蒲生と同じような緯度にあり、中部地域と捉えられる可能性がある。しかし、加治木は南部地域となっている。分かりやすく表現するために、北部・中部・南部地域と分けすることは良いが、北部地域(北山校区、〇〇校区)と具体的に書いた方がよりわかりやすいのではないかな。P22の中ほどに「本地域には4つの小学校があり」とあるが、北山小学校以外は分からず、地域にいない人にはわからないと思う。	表現に対する意見・疑問	①答申に基づき修正する

基本構想案に対する意見・疑問等

対応方針 ①答申に基づき修正する

原案 頁	修正案 頁	箇所	内容	種別	事務局対応方針
22	26	1北部地域②地域の特性と課題 7行目	「4つの小学校」の前に具体的な小学校名をいれるとわかりやすいのではないかな。	意見	①答申に基づき修正する
24	28	2中部地域②地域の特性を活かしたまちづくり 15行目「集団営農」	「集団営農の取り組みを進めます」とあるが、集団営農とはどのようなものか。	表現に対する意見・疑問	①答申に基づき修正する
25	29	3南部地域①地域特性と課題 15行目「局所的な人口増加～」	「局所的な年少人口の増加は教育施設の不足を招いています」とあるが、建昌小、西始良小は教室が余っている現状であり、重富小学校はプレハブ校舎を利用している。この地域の全ての教育施設が不足しているわけではないことから、現状を正確に記載すべきである。	表現に対する意見・疑問	①答申に基づき修正する
		全体的	審議会での指摘にあったように、国と始良市の抱える問題点が混在しているような感じを受ける。始良市の抱える問題について区別するほうが望ましいのではないかな。	表現に対する意見・疑問	①答申に基づき修正する
		全体的	問題や構想もたくさんあり、多くのことを伝えなければならないが、できる限りボリュームは少なく、わかりやすい言葉で、見てみようという気持ちになるもので無ければならないと思う。	意見	①答申に基づき修正する
		全体的	市民に読んでもらうことを前提に策定をしていかなければならないと思うが、行政用語、専門用語は極力避ける姿勢でまとめたいただきたい。	意見	①答申に基づき修正する

基本構想案に対する意見・疑問等

対応方針 ②基本計画にて掲載

原案 頁	修正案 頁	箇所	内容	種別	事務局対応方針
5	6	(4)交通体系 全文	始良市は南北に長い地形ですから、南北の交通利便性を図る必要がある。	意見	②基本計画にて掲載
6	6	(5)土地利用状況 全文	高齢化が進むと限られた土地利用が障害になることもあることから、土地の用途変更も進めるべきだと思う。	意見	②基本計画にて掲載
6	6	(5)土地利用状況 全文	船津地区の都市的な土地利用及び福祉センター設立(温泉の有効利用)	意見	②基本計画にて掲載
11	12	(1)共生・協働 8行目「行政と市民団体や校区コミュニティ」	校区コミュニティは、公民館制度から移行して4年目、未だ公民館制度に拘り、校区コミュニティとして同一線上に立っていない現状にあり、また、始良市民の認知度が不透明。他県では浸透するまで10年を要したとの意見を聞いている。果たして役割を分担できるほどの組織になりうるのか疑問。	表現に対する意見・疑問	②基本計画にて掲載
11	12	(1)共生・協働 全文「協働」について	私たちの校区においては、農業が主です。戦後農業は、牛→耕運機→トラクターと機械化が驚異的に進歩してきました。個別で農業ができるようになり、個人主義となって早20年近くが経過しており、「協働」を唱えるには相当の時間を要すると思います。 また、「校区」を出て行く人の多くは「自治会役員をやりたくない」が大半の意見だそうです。さらには、高齢化に伴い「協働」することが苦痛との申し出があり、自治会を脱会する方が目立ってきました。	表現に対する意見・疑問	②基本計画にて掲載

基本構想案に対する意見・疑問等

対応方針 ③事務局にて修正

原案 頁	修正案 頁	箇所	内容	種別	事務局対応方針
2	2	(3)実施計画 4行目「～別に定めます」	「なお、実施計画は本計画とは別に定めます」とあるが、「なお、実施計画は総合計画とは別に定めます」ではないか	表現に対する意見・疑問	③事務局にて修正
12	14	(4)健康でいきいきと暮らせ、安心して老後が迎えられるまちづくり 11行目「老年人口割合が5%程度」	「老年人口割合が5%程度上昇」は「5ポイント程度」の表現が妥当ではないか。	表現に対する意見・疑問	③事務局にて修正
16	19	2地方創生の取組と人口の将来展望 7行目「人口80,000人」	「80,000人」→「8万人」	表現に対する意見・疑問	③事務局にて修正

基本構想案に対する意見・疑問等

対応方針 ④意見として承る

原案 頁	修正案 頁	箇所	内容	種別	事務局対応方針
1	1	計画期間	校区では毎年10名程度が亡くなっている。8年経過後は校区自体の存続が危ぶまれている。基本理念の達成を待たずして消滅してしまう。	意見	④意見として承る
18	21	1協働・自治 2行目「校区コミュニティ」	17の校区コミュニティは3,000人規模、2,000人規模、1,000人以下の規模に分けて課題を話し合うことが決定しました。 それぞれに抱える課題が異なります。 私たち1,000人以下のコミュニティでは、いかに延命するかが最大目標です。 この1,000人以下のコミュニティでは、いかに「村」を知ってもらうか、定住してくれる人はいないか、躍起になって、各校区で様々なイベントを計画しています。しかしながら、校区民の「危機意識の欠如」「変化を好まない気質」等あいまって困難な課題と思っています。	意見	④意見として承る

基本構想案に対する意見・疑問等

対応方針 ⑤その他

原案 頁	修正案 頁	箇所	内容	種別	事務局対応方針
3	3	■位置 5行目「交通の利便性」	交通の利便性に優れているというのは、自家用車また自ら運転する人だけに限ったことではないか。	表現に対する疑問	⑤その他
4	4	(2)人口構造 3行目「再び増加に転じた」	再び増加に転じた要因を示して欲しい	意見	⑤その他
7	7	(2)未来を拓く人材の育成 9行目「本市の自然や伝統文化を尊重し～」	本市の具体的な取組を示して欲しい。	意見	⑤その他 当該項目は時代の潮流であり、本市の取り組みについては基本計画に掲載する。本文の修正は答申に基づき行う。
9	9	(5)「社会経済・産業構造」のグローバル化と情報化社会 1行目「情報通信技術(ICT技術)」	ICT技術というが、本市に於いてWiFi環境の整備が遅れているのではないか。	意見	⑤その他 当該項目は時代の潮流であり、本市の個別的な課題や取り組みについては基本計画に掲載する。
9	9	(6)魅力と競争力のあるまちづくりの必要性 11行目「外国人観光客の受入環境」	外国人観光客の受入環境づくりに於いて、行政の取り組みと市職員として外国人採用の取組は進んでいるのか。	意見・質問	⑤その他 当該項目は時代の潮流であり、本市の個別的な課題や取り組みについては基本計画に掲載する。
10	10	(7)都市基盤の構築 全文	世界的潮流では「地政学(地理+政治)」を用いた基盤整備の構築は必要不可欠となっている。日本では重要視されていない。P13の(5)に通じるところもあり、地政学について加筆する必要があるのではないか。	意見	⑤その他

基本構想案に対する意見・疑問等

対応方針 ⑤その他

原案 頁	修正案 頁	箇所	内容	種別	事務局対応方針
10	10	(8)厳しさの増す地方財政 6行目「広域行政」	「広域行政の推進」とあるが、始良市の行政組織は2、3年で各部単位での異動があり一貫した行政組織になっていない。過去の見解を基に窓口に行くと「その件は前任者が言ったことで・・・」と不毛な議論になってしまうことが多々あり、不満を持っているのが現状である。 広域行政を推進するのであれば、各部、各課にもっと専門性を持った人材を常駐し育成しなければ国、県との対応はできない。対応ができなければ、始良市民は国、県の推進政策から取り残されて実現に向けての施策が後手に回るだけではなく、施策自体を理解できないまま放置されてしまう事態にもなりかねない。その結果、始良市民が不利益を被ることは火を見るより明らかとなる。 よって専門性を持った人材の育成が急務である。	意見	⑤その他
10	10	(8)厳しさの増す地方財政 6行目「広域行政を推進」	「広域行政を推進」とあるが、鹿児島市や霧島市との連携を示しているのか。	質問	⑤その他
11	12	(1)共生・協働のまちづくりと効果的な行財政運営の推進 8行目「多様化する市民ニーズ」	「多様化する市民ニーズ」とは、どの様に多様化しているのか。10年前、20年前、30年前とどう変わっているのか。	質問	⑤その他
11	13	(2)結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなう社会づくり 7行目「結婚～しやすい環境」	「結婚・妊娠・出産・子育てがしやすい環境」とあるが、現在市内に産院が2つあるが、人口、面積に対して十分なのか。	質問	⑤その他
11	12	(1)共生・協働のまちづくりと効果的な行財政運営の推進 7行目「広域行政を推進」	「広域行政を推進」とあるが、鹿児島市や霧島市との連携を示しているのか。	質問	⑤その他
16	19	2地方創生の取組と人口の将来展望 全文	①～④に⑤として「他地域(県外)からの移住促進」を加えてはどうかと思います。東京一極集中の現状を打破する施策を推進している政府の方針にも合致するはず。	意見	⑤その他

基本構想案に対する意見・疑問等

対応方針 ⑤その他

原案 頁	修正案 頁	箇所	内容	種別	事務局対応方針
16	19	2地方創生の取組と人口の将来 展望 8行目「人口80,000人を達成～」	「2025年に人口80,000人を達成」とあるが、目標達成には相当の 施策展開が必要と思われる。大丈夫か。	表現に対 する意 見・疑問	⑤その他
20	23	5産業・交流 6行目「産官学金労言」	「産官学金労言の連携のもと」とあるが、具体的な連携方針がある のか。P13の産官学連携との区別は。	表現に対 する意 見・疑問	⑤その他
22	26	1北部地域①地域特性と課題 13行目「地域力の低下」	「地域力の低下」とあるが、自治会の個数も減る中で地域力の低下 の対策はどのようなものがあるのか	質問	⑤その他
22	26	1北部地域②地域の特性を活か したまちづくりの方向性 7行目全文	「農地の適正な維持と農地の集約化、担い手育成を進めます」とあ るが、「農地の適正な維持と担い手への農地の集約を進めます」の 表現のほうがいいのでは。	表現に対 する意 見・疑問	⑤その他